

令和8年度版 河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル【河川版】(魚類環境DNA調査編) (案) 改訂箇所一覧

ページ	改訂内容
令和7年12月改訂	
II-19	3.2.1 調査環境の記録(1)調査地点 (ウ)採水箇所の河川名を追加
II-24	4.1.1 ディスクフィルターを用いたろ過 「水中の混濁物が多い場合は～阻害物質除去キット等による阻害物質の除去を行う。」を追記。
II-26	4.2 DNAの抽出 「抽出に用いる試薬の液量はフィルターの種類や使用する器具に合わせて増量してもよい。ただし、組成比は変更してはならない。」を追記
II-28	4.3.1 環境DNAの分析条件 MiFishプライマーの混合比率：U:U2:E v2 :L=4:2:2:1 E^{v2} : Mifish E^{v2}
II-29	(イ)インデクス配列の設定に関する記述を変更 室内に残存する過去のライブラリーに起因するコンタミネーションや、次世代シーケンサーのラン間のキャリーオーバーを防止するため、分析室の環境や使用する分析機器等に応じた適切なインデクス配列の設定を行うものとする。(環境DNA学会マニュアル「5-2-2-4. インデクス関連情報」を参照)。
II-29	(エ)切り出しに関する記述を変更 2ndPCR産物に含まれる非特異産物の影響で良好な結果が得られない場合があるため、ゲルの切り出し等による2ndPCR産物の精製を必ず実施する。(環境DNA学会マニュアル「5-2-2-2. 2ndPCR産物の精製」を参照)。
II-40	現地調査様式1 河川名の記録欄を追加
II-41	現地調査様式2 河川名に関する記録欄を追加